

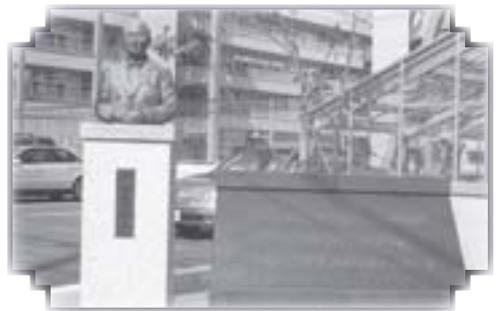


文学碑

文学碑を分類すると、一般的に文学碑と呼ばれている記念碑、歌碑、句碑、詩碑、文学にゆかりのある人の墓碑、その他の碑に分けられます。碑に刻まれた文字から、その人の思いや時代風景などを感じることができます。皆さんも区内にある碑を尋ねてみませんか。

音楽碑

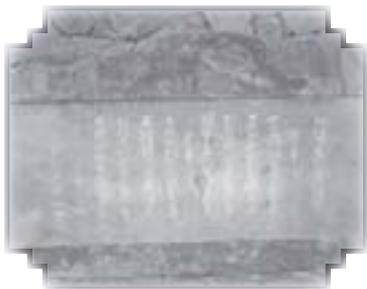
「城ヶ島の雨」「どんぐりころころ」の作曲家梁田貞。資生館小学校構内には「どんぐりころころ」の楽譜が刻まれた音楽碑と彼の像があります。音楽碑は像とともに昭和43年に建立。



① 梁田貞音楽碑・梁田貞像
(南3西7資生館小学校構内)

詩碑

延男の父で国文学者である石森和男詩碑は、昭和33年に建立され「十一州のしずめなるヌタブカムウシベ峰高くわれらが心をあらわして国のも中にそびえたり」と刻まれています。ロープウエー下の「石森文学広場」には、右側に父和男の詩碑、左側に子延男の文学碑が並んでいます。市内にある詩碑は、この一基だけです。



⑮ 石森和男詩碑
(伏見5ロープウエー下)

文学碑 (中央区出身の石森延男)

児童文学者・国語教育家である石森延男をご紹介します。



明治30年6月～昭和62年8月。札幌師範卒後、札幌市内の小学校に勤務。その後上京し、東京高等師範学校入学、卒業。国語教科書編さん官として満州へ赴任し、帰国後、児童書を執筆。戦後は国定国語教科書の完成に尽力。退官後、昭和32年に「コタンの口笛」がベストセラーとなり、第1回小川未明賞を受賞しました。児童文学に大きく貢献した石森延男を記念して、昭和56年に建立されたこの文学碑には「ふるさとサッポロよ人も自然も美しくあれ」と刻まれています。

② 石森延男文学碑
(伏見5ロープウエー下)